

～資金助成と社員のボランティア参加により、市民団体の環境活動を支援～

第7回『TOTO水環境基金』助成団体を決定 16団体・計980万円を助成

TOTOグループでは、環境ビジョン「TOTO GREEN CHALLENGE」*を掲げ、従来からの環境活動をさらに加速しています。具体的には、「商品・サービス」「ものづくり」「社会貢献」の3つの軸と、そのベースとなる「ひとつづくり」において活動を展開しており、その社会貢献の一環として、第7回目となる「TOTO 水環境基金」の助成団体を決定しました。

TOTO 水環境基金は、社会貢献・地域共生活動の一環として、2005年より「水環境の再生・保全」を目的に設立し、これまでに延べ97団体の活動に対し、総額13,754万円の助成を行ってきました。

第7回目となる今回は、2011年8月1日(月)～10月10日(月)の間に91団体よりご応募いただきました。助成団体を決定するにあたっては、TOTOグループ各事業所の代表者で構成する「水環境基金選考委員会」を設置し、書類選考の上、現地に赴いて各団体へのヒアリングを実施。選考のポイントとして、生物多様性の保全やCO2削減等の環境貢献度、活動の継続性の他、グループ社員が参加可能かなどの観点から、厳正なる選考を重ねました。その結果、**16団体に合計980万円を助成することを決定いたしました**。助成期間は2012年4月1日～2013年3月31日の1年間です。



活動現場訪問の様子。

TOTOグループでは、今年度より地球環境に貢献するボランティア活動を「グリーンボランティア」と称し、グループ社員の参加を促進しています。今回決定した水環境基金助成団体の活動にも、最寄りの事業所の社員が中心となって積極的にボランティア参加していく予定です。環境保全活動への参加を通じて、環境意識の高いひとつづくりを進めるとともに、地域との共生を目指してまいります。

■第7回「TOTO水環境基金」助成団体一覧

プロジェクト名	団体名	活動地域	活動内容
1 川の一年を利活用した河川環境保護事業	NPO法人 山のない北村の輝き	北海道	夏の渇水時期を利用し、北村の市街地を流れる旧美唄川にある「水辺の楽校」で河川調査を実施。炭を使った河川の水浄化作業の実験も行う。冬には、川の環境保全・緑化に対する関心を高めることを狙いに、真冬でも植樹が可能なバイオブロック(カミネッコン)を親子で製作する。
2 山のおいしさ学校 高根自然学校プロジェクト	高根フロンティアクラブ	新潟県	源流域の集落の責任として、清流の素晴らしさを次世代に引き継げるように、子どもたちへの環境教育を実施する。川での自然観察会、棚田を守る活動などを小学生～大学生とともにに行い、自然の大切さを学ぶ。そのような交流を通じて、集落の活性化にもつなげていく。
3 おいしい水を育てよう! 利根川水源地域の里山再生活動	さなざわ里山だんだんの会	群馬県	みなかみ町月夜野真沢にはきれいな沢が流れ、水に育まれた文化や自然環境が今も残っている。これらを後世に伝えるために、地域住民が中心になり、山林の間伐やビオトープづくり、環境学習会などを開催し、里山保全に努める。
4 児沢の森・田んぼの学校 開校プロジェクト	児沢探検隊	埼玉県	谷津田での米づくりの中止により、耕作放棄地となり、人にとっても野生生物にとっても環境が悪化しつつある。谷津田を生物多様性の高い「冬水田んぼ」として再生し、都市農村交流型の田植え・稲刈り体験活動を地元住民と一緒に実施することで、美しい里山環境の維持再生、青少年の健全育成と集落の活性化を図る。

5	白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり	白子川源流・水辺の会	東京都	東京23区内に湧水の水源をもつ唯一の一級河川である白子川の貴重な湧水と、豊かな水辺環境を保全することを目指して、2001年より活動を開始した。定例の川活動として、川の清掃や水質調査、生き物調査を実施することによって川の環境を守る。また、「白子川源流まつり」の開催等により、潤いと親しみのある“湧き水の町”を人々が実感できるようにする。
6	夏休み多摩川教室	おさかなポストの会	神奈川県	地域住民にゴミが大量に放置されている多摩川の現状を知らせ、多摩川に親しむことを目的に活動している。河川の美化活動、川流れ、ボートによる川下り、生き物調査などを実施。地域と連携し、川と親しむことで、川が抱える問題に目を向け、環境改善につなげる。
7	岩嶽のおいしい水を地域の自慢にするプロジェクト	NPO法人 はるの山の楽校	静岡県	春野町杉地区を舞台に、水の大切さと森林の機能を再認識する活動を行う。水源地の水の水質検査を行い、水を利用した地域おこしの検討を行う。また、水源地探訪、お茶つき、水を育む山の手入れなどのエコツアーを行い、水と自然・地域・産業などとのつながりを体感し、水について考える機会を提供する。
8	山は海の恋人、つながろう海、山、川保全活動	一般社団法人 海っ子の森	三重県	三重県南紀州地域では、熊野古道の世界遺産指定等により、山や川の保全、さらには海の環境保全が重要な課題となっている。水環境保全活動のネットワーク拡大、海の植林活動などを通じて、海・山・川をつないだ総合的な水環境保全活動を行う。
9	家棟川で生態回廊を再生！ ～ピワマスが遡上する川に～	NPO法人 家棟川流域観光船	滋賀県	野洲市の8割の川が合流する家棟川で、琵琶湖の固有種であるピワマスの遡上、在来魚類を育む生態回廊の再生を目指して活動している。水質や生態系の調査を実施し、暮らしと水や生物のつながりを理解し、その上で効果的に水源の山・森から川・田畑、琵琶湖へとつながる環境の保全に取り組む。また、自然を体験し守るイベントを行い、活動の輪を広げていく。
10	保津川の歴史的な自然景観保全プロジェクト ～河川漂着ごみ減量化作戦～	NPO法人 プロジェクト保津川	京都府	美しい景観美を見せる保津川はゴミの不法投棄などの環境の悪化が課題となっている。そこで、流域住民、各種団体、企業、行政が連携して保津川の歴史的な自然景観を保全することで、地域の活性化を図る。さらに、海岸漂着ゴミの発生抑制対策の必要性を全国へ発信する。
11	国際作業キャンプによる飛鳥川の景観修復プロジェクト	景観ボランティア明日香村	奈良県	日本誕生の地・奈良県明日香村の歴史的景観を修復・保全することを目的に、国際作業キャンプや日帰り活動、里山再生活動などを実施する。10年間の活動を通じて、ボランティア・村・地元集落が役割分担し一緒に作業を行う「協働作業方式」を確立している。
12	めざせ！紫川を日本一の清流にするプロジェクト 2011 ～“山”“TO”“川”“TO”私たち中谷”水源再生事業～	中谷地区まちづくり協議会	福岡県	紫川および鱒淵ダムの水環境の再生・保全を目的に、竹炭利用による環境保全サイクル活動を行う。水環境の再生・保全をベースとして、地域全体が環境保全のモデル地域となり、町の活性化および環境保全意識の醸成を図っていく。
13	ホタル舞う旧長崎街道を目指して ～ホタルの飛び交う黒川の再生～	香月・黒川 ほたるを守る会	福岡県	ホタルの保護・育成を通じて、清く澄んだ黒川を守る世代を超えた地域活動を行う。また、地域活性化推進のために、「ほたる祭り」や環境学習、日韓の小学生による交流事業等を実施する。
14	ほりの再生をめざすふるさとづくり	アクアリング委員会	福岡県	ほり干し活動を8年にわたって継続しており、ほりが有していた機能の回復を図り、農業生態系保全・農村景観保全を行う。また、ほりの再生活動を通じて、地域活性化を図る。
15	“地球上の水を守る人づくり”プロジェクト	次世代のためにがんばる会	熊本県	河川・八代海の水に対する意識を向上させるために、子ども向けの環境出前授業や一般向けの見学会・ワークショップを開催し、河川の現状と現状改善策について考える場を提供する。また、官学民産の共同体制で河川・浜辺の清掃活動を開催し、地域住民の河川愛護への意識を高める。
16	冷川のホタルと親しむ会	冷川のホタルと親しむ会	大分県	温泉湧水量全国一の温泉地にあつて温泉水の流れ込まない市内唯一の河川・冷川の自然環境を保全し、生息する魚類・小生物の育成環境を守り、中でも希少となっているゲンジボタルの育成に努める。

ご参考：各団体の詳しい活動内容に関しては、2012年6月にTOTOホームページ「TOTO水環境基金」内で公開する予定です。

<http://www.toto.co.jp/company/mizukikin/index.htm>

■過去の助成団体と TOTO グループ社員との協働の様子



団体名: ほのぼのビーチ茅ヶ崎(2007 年度助成団体)
テーマ: 茅ヶ崎海岸再生プロジェクト
内容: 毎月、同団体が実施する茅ヶ崎海岸の清掃活動にグループ社員が参加している。
(2012 年 1 月までの実績)
実施回数:47 回 延べ 1,225 名参加

<参加者コメント>

ビーチクリーンに参加すると、グリーンボランティアを实践できるだけでなく、いろいろな人と顔をあわせることで TOTO グループの一体感を感じます。今後も参加したいと思っています。



団体名: 白子川源流・水辺の会(2010 年度助成団体)
テーマ: 白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり
内容: 毎月、同団体が実施する白子川の清掃活動にグループ社員が参加している。
(2012 年 1 月までの実績)
実施回数:12 回 延べ 100 名参加

<参加者コメント>

川のごみ拾いボランティアに参加したのは今回が初めてでしたが、川の水も思ったより冷たくなく、元気に活動させていただきました。ホトケドジョウという絶滅危惧種を初めて見ましたし、クレソンが幅をきかせている現状も、川に入ってお話を聴かなければ分からなかったことで、とてもためになる時間でした。

(※1)環境ビジョン「TOTO GREEN CHALLENGE」

TOTO は水まわりのトップメーカーとして、従来からの環境活動をさらに加速するため、環境ビジョン「TOTO GREEN CHALLENGE」を 2010 年 4 月よりスタートさせました。詳しくは下記 URL をご覧ください。

<http://www.toto.co.jp/greenchallenge/>



TOTO GREEN CHALLENGE

以上に関するお問い合わせは下記までお願いします。

<TOTO 広報部>

東京広報グループ 担当:藤田

東京都港区虎ノ門1-1-28 TEL:03(3595)9422

本社広報グループ 担当:箭野(やの)

北九州市小倉北区中島2-1-1 TEL:093(951)2901

<お客様からの問合せ先> お客様相談室 TEL:0120-03-1010

<TOTOホームページ> <http://www.toto.co.jp/>

<水まわりのまめ知識「ティドビット」> <http://www.toto.co.jp/tips/tidbit/>

このニュースリリースは、北九州経済金融記者クラブに投函しているほか、TOTOホームページでもご覧いただけます。